

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 2017年度スワジランド国別研修「中等理科教育における授業実践能力向上」

(英文) Training on the development of INSET programs for science teachers in secondary schools

(2) 研修期間 平成29年8月28日～平成29年9月22日

(3) 研修員数 9人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 寺島 幸生

2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

(1) 案件目標（アウトカム）

案件目標：

理科教育に係る課題が整理され、質の高い理科現職研修教材の開発能力が強化される。

指標：

研修員が作成した「スワジランドの理科教育課題分析図」, 「学習指導計画 (Teaching Plan) 案」(各教科2-3単元分), 「教員研修教材であるアクティビティシートおよび教員用シート」(各教科2-3単元分) および「教員研修カリキュラムの改善提案書」に基づいて評価される。

(2) 単元目標（アウトプット）

単元目標①：

スワジランドの中等理科教育(11, 12 学年の物理, 化学, 生物)に係る課題が整理される。

指標：

研修員が作成した「スワジランドの理科教育課題分析図」において, 日本との比較から見出した具体的な課題が整理されているか, 4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標②：

上記①を基に, 研修員の中等理科(11, 12 学年の物理, 化学, 生物)現職研修に係る教材を開発する能力が強化される。

指標：

研修員が研修中に作成した「学習指導計画 (Teaching Plan) 案 (各教科 2-3 単元分)」, 「教員研修教材であるアクティビティシートおよび教員用シート (各

教科 2-3 単元分)」が、現地の現職教員研修において実効的であるか、4段階評価でB（やや優れている）以上。

単元目標③：

研修員が日本の理科教育の取り組みを説明できる。

指標：

講義，見学における研修員の質問や議論の内容，研修員の質問票および研修中に作成した「国別研修概要・内容説明資料」において，日本の理科教育の取り組みが具体的に含まれているか，4段階評価でB（やや優れている）以上。